

募集  
今、

大学で学びたい高校生

募集受付期間：2023年2月8日(水)～3月10日(金)

Q. 高等学校等に在学する者に関する科目等履修ってどんな制度ですか？

A. 高校と大学との円滑な接続を図ることを目的に、高校生が大学の授業を履修することができる山梨県立大学独自の取り組みです。

Q. いつ受講できるのですか？

A. 今回募集するのは2023年4月～9月に開講する授業です。開講時間や会場については「令和5年度 高等学校等に在学する者に関する科目等履修対象科目一覧（一次募集）」をご覧ください。

Q. 修得した単位はどうなりますか？

A. 科目等履修生として授業を履修し試験等に合格した場合に、入学後は既修得単位として単位認定の申請をすることができます。山梨県立大学へ入学後に、既修得単位として申請することができます。

お問い合わせ：山梨県立大学 社会連携課  
〒400-0035 山梨県甲府市飯田5-11-1  
TEL：055-225-5412



# 令和5年度 高等学校等に在学する者に関する 科目等履修生について（前期）

出願書類：高等学校等に在学する者に関する科目等履修生入学願書

※在学する高等学校等の長の推薦が必要です。お早めにご準備をお願いします。

受講料：7,400円（税込） / 1単位（入学検定料・入学料は免除します。）

NO.	科目名	担当教員	科目の内容
1	VUCA時代のキャリアレジリエンス	水上篤/杉山歩	現代は先の見えない時代(VUCA時代)と呼ばれるようになりました。VUCA時代においては、自らのキャリアを形成していくに際して、様々な困難に直面していくことが予想されます。本科目では、社会の変化にすなやかに対応していくためのマインドのあり方、手法について学びます。
2	地域しごと概論(経営マインド)	手塚伸/今井久	ものづくり現場の経営者や支援者が、仕事の理念、これまでの好機・危機、未来への戦略、VUCA時代を生き抜くための考え方などを語ります。経営者の現場の生の声や受講者への期待を通して、山梨県産業の多様さ・奥深さを理解するとともに、現実の仕事を実感することで今後のキャリアを構想するに当たっての基本的な知識や精神的な糧を得ます。
3	地域の豊かさ	今井久	日本の一地方である「山梨県」の特徴ある地域資源に注目し、それらと豊かさに関連付け、山梨県の豊かさがどのようなものなのかを考えていく。「エコロジカル・フットプリント」「健康寿命」「ものづくり」「農業」「ワイン」「水」の6つに注目し、山梨県におけるそれらの位置付けと、それぞれがどのように地域の豊かさに関連しているのかを考察する。
4	問題発見の技法	佐藤文昭	今日、私たちが直面している地域社会の問題は、複雑化・複合化し、目に見えてくる出来事も、実は様々な要素が複雑に絡み合って生じています。本科目では、こうした出来事が「なぜ」「どのよう」に起こっているのかを、データやディスカッションを通じて一つ一つ解き明かしていくことにより、根本にある問題点はなにかを見つけるための技法を指導します。
5	地域資源の保全と活用	堀内久雄/杉山歩	山梨県には、豊かな観光資源（文化と自然）があります。持続的な観光開発には自然環境、文化資源を保全しながら開発を進めていく必要があります。本科目では自然や文化の保全と観光をどのようにバランスさせていくかについて理解してもらうことを目的とし多彩なゲスト講師をお招きし、実際に行っている活動についてお話を伺いながら、自らどのように行動していくのかを考えます。
6	多文化共生地域課題2 (多文化社会における対人援助/外国人と人権)	新居みどり/長坂香織	多文化化する地域における外国人住民の現状を知り、その諸課題について理解します。世界につながる地域社会の一員として、多文化共生社会の実現にむけた方途について考察し実践する力を身につけます。
7	多文化共生の現場を歩く	長坂香織	多文化共生に関わる現場に足を運び、実際に見て、その現場の方の話を聴くことを通じて、多文化共生の現状と課題を肌で感じ、理解します。また、それらの課題解決に向けた現場の対処について学び、多文化共生を自分事として考える姿勢を身につけます。
8	アイデア共創実践	戸田達昭/杉山歩	自分がどのような社会を作っていきたいのか（よりよい社会を作っていきたいのか、或いは課題を解決したいのか）、ということを経営を通じて実現するのが起業です。多くの先輩起業家や専門家たちをメンターとして迎え事業をデザインしていく方法とそれを相手に伝える方法（プレゼンテーション）を学び、実践することを目的としています。
9	ビジネス共創実践	齊藤浩志	先行き不透明なこの時代を生き抜くカギは、自分のしたいことを意識して行動できるかどうかにあると言えます。『「自分なりの視点」で物事を見て、「自分なりの答え」を導き出す』。それこそがVUCAといわれる不確実性が高いこの時代において、どんな逆境に遭遇したとしても独自に生きていく力になります。本講義では、社会に存在する課題を自分ごととして捉える課題の発見力や共感力を育むとともに、不確実性の高い環境下でも未来創造や課題解決に向けた行動を起こしていくための精神と態度を学びます。
10	簿記論	石山宏	商業に必須の手段たる簿記 (bookkeeping) は、万国共通の経済原語というべき存在です。本科目では、初級簿記の全体を学びます。
11	災害支援	渡邊裕子 他	災害の定義と分類、災害のサイクルから災害の基本について学びます。また、災害サイクルと各期に応じた援助（ボランティア活動を含む）の実際、トリアージの基礎的な知識を学びます。
12	芸術活動をととした多様性協働プロジェクト	山野靖博/中原和樹	自立した個人として他の個人と向き合い、対話し、それぞれの立場と役割を受け入れ合うことで、独りでは到達し得ない演劇創作を体験することを目指します。その為に、自己の内省と他者への開示、他者への受け入れを軸として、表面上ではない深い対話を進めていく。社会的レイヤーから切り離された、人間同士としての交流と繋がりを構築することが必要となり、自分も生き、相手も生きるという道を探らし、自身の観点を広げ、鋭く成長させることを目的とします。

授業内容等については、下記ホームページのシラバスを参照してください。

<https://www.yamanashi-ken.ac.jp/exam/course-students/>

